

[普及事項]

新技術名： リンゴ新殺虫剤の実用化（平成2～7年）

研究機関名 果樹試験場環境部虫害担当、鹿角分場
担当者 大隅専一・舟山 健、他1名

[要約]

アニバースMC1000倍は殺ダニ剤として、モスピラン水溶剤4000倍はアブラムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、モモシクイガの同時防除剤として、ロムダンフロアブル3000倍は開花期前後のハマキムシ類防除剤として実用性が高い。

[ねらい]

新しく開発された殺虫剤について、リンゴの主要害虫に対する防除効果を検討し、実用性の高い薬剤を県防除基準に採用して、リンゴ害虫防除体系の改善を図る。

[技術の内容・特徴]

1. 材料及び方法

ハダニ類、アブラムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、モモシクイガ、ハマキムシ類などリンゴの主要害虫の発生期に散布し、これまで用いられている殺虫剤と防除効果、薬害などについて比較検討した。

2. 結果

- 1) アニバースMC1000倍は合成ピレスロイド系殺ダニ剤で、高度に薬剤抵抗性の発達したハダニ類に対しても高い防除効果を示し、30日以上抑制期間を有する。使用時期は要防除密度（1葉平均寄生虫数3.0頭）に達した時とする。
- 2) モスピラン水溶剤4000倍はクロロニコチニル系殺虫剤で、アブラムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、モモシクイガに対し防除効果が高い。使用時期は主としてモモシクイガの防除期である6月下旬以降とする。
- 3) ロムダンフロアブル3000倍は脱皮促進型のIGR剤で、ハマキムシ類など食葉性鱗翅目に効果が高い。訪花昆虫に対し影響が少ないため、開花期前後に使用する。

[普及対象範囲]

全県（リンゴ）

[普及・参考上の留意事項]

1. アニバースMCは殺菌剤、特にTPN剤、キャプタン剤との混用で葉及び果実に薬害を発生するおそれがあるので原則として単剤使用とする。また近接散布でも薬害発生のおそれがあるので、TPN剤とは15日、キャプタン剤とは7日の間隔をあける。
2. アニバースMCは合成ピレスロイド系のため、他の合成ピレスロイド系殺虫剤を含めて散布回数を年1回とする。
3. ロムダンフロアブルはIGR剤のため、効果発現は遅効的である。

[具体的なデータ等]

第1表 アニバースMCのナミハダニに対する防除効果(秋田果試、平6年)

供試薬剤	希釈 倍数	散布前	11日後	19日後	29日後	防除 効率
アニバース MC	1000	308.5	2.0	1.3	19.0	99
タニトロン F	1000	206.5	30.0	202.5	694.0	78
ピラニカ WP	1000	476.8	13.8	216.0	1338.0	84
無散布		313.3	2079.3	2638.7	1860.0	

10葉当たり寄生数

第2表 モスピラン水溶剤のキンモンホソガに対する防除効果(秋田果試鹿角、平6年)

供試薬剤	希釈 倍数	散布 月日	調査 新梢数	被害 新梢数	被害 数	マイン 数	1新梢当り マイン数	薬害
モスピランSW	4000	7.20	60	1	1	0.02	—	
		7.25	60	9	13	0.22	—	
硫酸ニコチン	1000	7.25	60	6	7	0.12	—	
無散布	—		60	30	60	1.00		

調査月日: 8.24

第3表 モスピラン水溶剤のギンモンハモグリガに対する防除効果(秋田果試、平6年)

供試薬剤	希釈 倍数	マーク 新梢数	被害 新梢数	被害 葉数	被害 痕数	被害 数	薬害
モスピランSW	4000	27	1	1	1	—	
スプライト WP	1500	21	2	2	2	—	
無散布	—	25	25	85	457		

散布月日: 9.6 調査月日: 9.17

第4表 モスピラン水溶剤のモモシクイガに対する防除効果(秋田果試、平7年)

供試薬剤	希釈 倍数	調査 果数	被害 果数	被害果 率(%)	薬害
モスピランSW	4000	300	11	3.7	
アティオンWP	2000	134	8	6.0	—
ターズハンWP	1000	169	12	7.1	
無散布	—	335	316	94.3	—

散布月日: 6.27、7.12、7.28、8.11、8.24 (アティオンWPは6.27、7.28、8.24)

調査月日: 9.7

第5表 ロムダンアアルのハマキムシ類(リンゴコクモバダニ主体)に対する防除効果(秋田果試、平6年)

供試薬剤	希釈 倍数	調査 花葉叢数	被害 花葉叢数	被害 花葉叢数	寄生 率	1側枝 平均 在虫数	薬害
ロムダンFL	3000	1049	30	4	0.4	0.4	—
トアロ-WPCT	1000	987	64	41	4.2	4.6	—
トクチオンWP	800	1027	20	6	0.6	0.7	—
無処理	—	995	104	70	7.0	7.8	

処理月日: 5.2 調査月日: 5.20

[発表文献等]

なし